

なごや看護学会第7回学術集会趣意書

2025年4月1日

わが国では、地震や水害、山林火災など度重なる自然災害が発生しています。被災され、避難生活をされてみえる方や生活再建に取り組まれていらっしゃる多くの方々にお見舞を申し上げるとともに、1日も早い復興を願ってやみません。

2025年は団塊世代が75歳を迎える年ですが、その先には高齢者1人を1.5人の現役世代が支える2040年問題が控えています。医療・介護・福祉分野のみならず、働き手の中心となる現役世代の急減と働き方改革の推進、少子化による18歳人口の減少は、私たちの健康と暮らしに大きな影響を及ぼすことが予測されています。

現在は、ICTを活用した遠隔診療やAI・ロボット等の技術革新が驚くべきスピードで進化し続けています。このような革新技術により、人でなくても可能なことを代替・補完し、効率性を高めるなど、より安全性を向上していくことが可能な時代になってきました。DXの必要性が問われていますが、まだまだ技術への理解や活用方法、導入に向けた経費等の問題は山積しています。看護者一人ひとりが、来るべき将来像をしっかりと見据え、柔軟な発想を持ちながら新しい看護を創造していくことが重要です。

その反面私たち看護者は、ナイチンゲールに端を発する看護の本質を今一度考え、大切にしなければなりません。「その人らしい暮らしを支える」「その人らしく人生を全うする」ことの伴走者として看護を考える時、革新する技術だけではなしえない看護の本質を感じざるを得ません。新しい看護の創造をしつつも看護の本質は忘れない、そのような看護DXを学術集会に参加される皆さまとともに考えていけることを期待しております。

本学術集会を通じ、変化する社会における看護の形と価値、そして看護の本質を皆さまとともに考える機会となることを願っております。なごや看護学会第7回学術集会は、2025年9月6日（土）に「看護DXへの挑戦—看護の本質と新しい看護の創造—」をテーマとし、名古屋市立大学病院にて開催いたします。より多くの方の演題登録、ご参加を心よりお待ちしております。

第7回学術集会長 松本 千佳子